

すぐ会いましょうと言ってから月日が経ち、
気がつけば2月・・・**3年生は卒業間近**となりました。
そこで、今回はある3年生の手記を掲載します。
写真とともに、動物科学科で充実した生活を送った生徒の実感
あふれる内容ですので、長いですが、写真とともに楽しみく
ださい。

.....



私は牛が大好きです。
私の両親は酪農家・・・
ではありません。
私も入学前には
「動物科学科で**馬**について勉強
したいな」くらいしか考えてい
ませんでした。

最初は牛が怖かったのに、牛舎での実習で牛と過ごすうちに、
どんどんどんどん牛が好きになりました。つぶらな瞳の牛た
ち、そして搾乳作業がうまくいったときに
あふれる充実感、牛舎で過ごす時間はかけ
がえのないものです。



私は将来、**酪農家になりたい**と考えて
います。産業動物である牛に私がしてやれ
ることは何なのか、どうすれば**幸せ**にしてやれるかを常に考え
ている酪農家になりたいです。

岐阜農林高校の動物科学科に入らなかつたら、
そして**牛と出会わなかつたら**今頃私は何をしているんだ
ろう、何を目指してるんだろう。
ちょっと想像もつきませんが、と
にかく牛と出会えたこと、酪農と
いう産業に出会えたことはとても
幸せです。



動物科学科の生徒はほとんどが動物関連の学校に進学します。
私は牛まっしぐらですが、遺伝子操作によって**絶滅危惧種を
保全**したい人、海外で**環境保護活動**をするのが目標の人、

野生動物の交通事故を防ぎたい人、牛のゲップを減少

させて地球温暖化を防ぐ研究を大学でしたい、なんていう個性的な人もいます。北海道の**牧場に就職**する人もいます。

専門学校や大学に進学してから**動物園の飼育員**を目指す人もいます。



動物の管理に関する実習が多いので、朝早い時間の実習など**大変なこともたくさん**ありますが、動物が好きな人ならやりがいはあると思います。個人的にはぜひこの学科で牛を好きになって、私と一緒に**日本の酪農**を、日本の食卓を支えていて欲しいです。本当に牛はおもしろいですよ。



.....

今回は酪農専攻のお話でしたが、もちろん他の動物もいます。



ヤギのハル
「僕はどつかないよ」



木曽馬の藤花とミナモ
「2月って寒いよね」



ラブラドルレトリバーのなつとここ
「誰かあそんでくれー」「おやつくれるの??」

次回は動物たちが出演する3年生制作の映画を掲載する予定です
ので、牛以外の動物の話がお好きな方は乞うご期待。

すぐまた会いましょう。